

# 令和6年度学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①自ら課題を設定し、その解決に向けて主体的に探究することができる生徒の育成を図る。</p> <p>②グローバル化が進む社会で広い視野を持って協働して課題を解決できる生徒の育成を図る。</p>	<p>①新教育課程に必要な整備、措置を講じて展開するとともに、ICTの利活用により生徒の多様な学びを支援する。</p> <p>②国際社会でリーダーとして活躍できる人材の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善の実施と教育活動の充実に取り組む。</p>	<p>①新教育課程について教科から意見を聴取し、改善の有無を検討する。一人一台端末の活用について相談体制を整備する。</p> <p>②授業改善について、教科で達成すべき目標を設定し、改善を図る。ICTの利活用による教育活動の充実に向け、教科会を通じて活用の報告や研修を行い、共有を図る。</p>	<p>①新教育課程について、教科の意見聴取、改善の検討は進められたか。一人一台端末活用の相談体制は整備できたか。</p> <p>②授業改善に向けて教科ごとに達成すべき目標を設定し、改善は進められたか。ICT利活用に向けて教科会の場は活用されたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①豊かな人間性や主体性、指導的役割が果たせる人格の育成を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの適切な理解に基づく生徒支援体制と教育・健康相談の充実を図る。</p>	<p>①生徒が自らの目標達成に向けて活動し、幅広いコミュニケーションを通じた活動が実現するよう、生徒会行事や委員会、部活動を支援する。</p> <p>②適切な生徒理解に向けて、校内の支援体制を整備する。生徒が安心して学校生活を送れるよう支援する。</p>	<p>①生徒が同期や先輩、後輩と幅広いコミュニケーションを通じて活動が行えるよう支援する。特に組織が委員長や部長を中心に運営されるよう支援に努める。</p> <p>②SC、SSW、職員間で適切な連携が取れるよう、教育相談コーディネーターを中心に情報共有に努める。SSWと協力し、関係機関との連携を図る。かながわ子どもサポートドックを有効活用する。</p>	<p>①生徒は自らの目標を設定し、そのための活動を行っていたか。生徒は積極的にコミュニケーションを取ろうとしていたか。組織は委員長や部長を中心に運営されていたか。</p> <p>②必要な生徒情報をSC、SSW、職員間で共有し、適切な支援が行われたか。SSWとの協力で関係機関と連携することができたか。かながわ子どもサポートドックの有効活用は図られたか。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>①キャリア観の育成を通じて生徒自身が進路を開拓・選択する力を培うとともに、第一希望の実現に向けた指導、支援を充実させる。</p>	<p>①3年間を見通した進路指導計画に則り、将来を見据えたキャリア観の育成と組織的な進路指導を進める。各種の手立てを実践することにより、生徒に自ら希望する進路を見出させ、その希望する進路を実現させる。</p>	<p>①卒業生のお話を聞く会や外部講師活用の各種講演会などによりキャリア教育の充実を図る。計画的・組織的な進路指導を実践していく。ハイレベルな学習スキルを養い、応用力の育成を図るなどHi-ゼミ活用についてその充実を図る。夏のスタディショップの充実を図る。</p>	<p>①年度末に各学年で行う進路指導の満足度や必要な力が身に付いたかを問う調査で、各回答が85%を超えたか。Hi-ゼミの充実は図れたか。スタディショップは生徒にとって魅力的なものになっていたか。</p>
4	地域等との 協働	<p>①PTAや同窓会、地域との連携事業を通じて、生徒の社会参画意識を向上させ、地域とともにある学校づくりを推進する。</p>	<p>①本校の教育活動が地域等にとっても安心して魅力的なものとなるよう、地域等の現状やニーズの把握に努め、地域等との連携事業を教育活動の一環として推進する。</p>	<p>①地域等との連携に向けてコロナ禍前後の変化を整理する。地域等とスムーズなコミュニケーションがとれる環境づくりに努める。現状やニーズを把握し、地域等との連携事業についてその充実を図る。</p>	<p>①コロナ禍前後の変化を踏まえて連携の在り方は整理できたか。地域等と定期的な意見交換は行えたか。地域等との連携事業に充実は図られたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①大規模災害に備え、職員・生徒・地域が協力して行動できる体制を整える。</p> <p>②生徒と向き合う時間を確保するため、教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①学校防災マニュアルを改善し、職員・生徒・近隣住民が協力できるよう体制を整備する。防災教育を充実させる。</p> <p>②業務分担の偏りや長時間労働の是正に向けて職員が協力して取り組み、必要な対応を進める。</p>	<p>①学校防災活動マニュアルを見直し、大規模災害を想定した訓練を実施する。防災教育を通して、生徒が安全に行動できるようにする。</p> <p>②職員は協力して部活動指導、グループ業務の均分化に努める。管理職は勤務過多の職員を把握し、是正に向けて相談、協力する。</p>	<p>①学校防災マニュアルの改善は図られたか。大規模災害を想定した実践的な訓練は行われたか。生徒は通学経路の安全性について認識できたか。</p> <p>②部活動指導、グループ業務の均分化は進んだか。勤務過多の職員へは適切な対応がとられたか。</p>